

カリキュラム・ポリシー	
<p>看護学部では、全学共通教養科目および専門科目で学ぶ理論と実践を有機的に結びつけるために、コミュニケーションプラクティスの考え方を参考に、1年次生から4年次生で構成すること、共同すること、自立すること、を方向づけ、看護専門職となるための社会化を助ける。</p>	<p>自己の生涯にわたって形成を図るための国際性、倫理、科学的思考、築き、倫理、専門性を身に付けるための基礎力を養う。</p>
<p>看護実践能力を培う。</p>	<p>看護師、保健師、助産師としてのキャリアの継続を含めた生涯教育を視野に入れて編成する。</p>
<p>成視動な教程上看護野育のをに護野に育、置養の野のい、の健き、教基で、健康、管健論の編を理康課の活</p>	<p>成視動な教程上看護野育のをに護野に育、置養の野のい、の健き、教基で、健康、管健論の編を理康課の活</p>

分野	1回生		2回生		3回生		4回生		備考	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
全学共通教養科目	基礎科目・語学科目・情報科目・ウェルネス・一般科目									
専門科目	専門基礎科目	特別生物	生命倫理	疫学			保健統計学	国際保健	健康相談活動	
		特別化学	公衆衛生学	薬理学			社会福祉・社会活動論	医療英語		
	発達心理学	医療と法	社会福祉・社会保障論			学校保健Ⅱ				
		コミュニケーション論(表現学)								
		食品学総論								
	コミュニティ・ケアシステム分野	看護学概論		実践看護論			予防看護論			
		生活概論	生活援助論	老年看護論	コミュニティヘルスケア看護技術演習Ⅱ	地域看護活動論	看護情報学	災害看護	看護倫理	
		コミュニティヘルスケア看護技術演習Ⅰ		コミュニティケアシステム論		在宅看護論	老年看護実践方法論			
			コミュニティ看護実習Ⅰ		コミュニティ看護実習Ⅱ(老年)		学校保健Ⅰ			
						公衆衛生看護学概論	公衆衛生看護活動論Ⅰ	公衆衛生看護演習※		※保健師選択者のみ
						公衆衛生看護活動論Ⅱ	公衆衛生看護管理論※			
							公衆衛生看護活動論実習※			
							公衆衛生看護管理論実習※			
医療看護分野	人体のしくみと機能Ⅰ	人体のしくみと機能Ⅱ	疾病と治療Ⅰ	感染免疫学						
			疾病と治療Ⅱ							
			疾病と治療Ⅲ							
		疾病と治療Ⅳ								
		医療ケアシステム論	精神看護支援技術演習	急性期看護論	こころの健康増進と看護					
		治療看護論		慢性期看護論						
		精神看護論		治療療養支援技術演習						
	医療看護実習Ⅰ			医療看護実習Ⅱ(精神)	【前期又は後期】医療看護実習Ⅱ(急性期)					
					【前期又は後期】医療看護実習Ⅱ(慢性期)					
成育看護分野				疾病と治療Ⅴ						
				疾病と治療Ⅵ						
			養護概説	小児看護論	小児療養看護論					
				母性看護論	家族看護論					
			成育看護技術演習Ⅰ	女性の健康増進と看護						
		成育看護実習Ⅰ		成育看護技術演習Ⅱ						
					【前期又は後期】成育看護実習Ⅱ(小児)					
					【前期又は後期】成育看護実習Ⅱ(母性)					
					助産学概論	助産診断技術論*	助産診断技術論演習*		*助産師選択者のみ	
							助産管理*			
							助産学実習*			
統合看護科目	学びのグループゼミⅠ		学びのグループゼミⅡ		学びのグループゼミⅢ		学びのグループゼミⅣ			
							課題探究			
							総合実習(地域・在宅)			
教職に関する科目										

ディプロマ・ポリシー
<p>地域全体の保健医療福祉システムの中で、看護職間や他職種間で連携・協働していく基礎的能力が身についている。</p> <p>医療専門職として、倫理実践および道徳的態度が身についている。</p> <p>専門職業人として、生涯にわたって職業創造をしていく基礎的能力が身についている。</p> <p>地域の保健医療福祉システムの中で生活している人々に対して看護ケアを自立して行う基礎的能力が身についている。</p>